

# 月刊 やちまなこ

2021. 5.15 発行

No.282

## 5月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

今年はキタコブシとエゾヤマザクラが湿原周辺の丘陵地を彩る景色となった。湖畔沿いのヤナギの新緑も鮮やかに晴天の下、彩りを添えている。温暖化の影響で年々開花も早まるが、「日本一遅い開花」桜前線のゴールは変わらないだろう。風が強い日も続き、暖房が必要な日もあるが、ヒシクイやオオハクチョウの姿が消えた釧路湿原にはウグイスが鳴き、空には羽音賑やかにオオジシギが飛び交い、この先夏鳥の数も増える頃には季節の花も咲き誇る。残雪が見える山を背景に一層鮮やかで賑やかな湿原の景観が広がる。



## 塘路フィールドノート【4/15~5/14】

### 【野鳥】

今年も夏鳥の季節がやってきました。晴れて暖かい日には夏鳥たちの元気な鳴き声が湖畔に響き渡ります。新緑前のこの時期は野鳥観察に最適な季節。双眼鏡片手に湖畔を散策すると、樹上でさえずる夏鳥たちに多く出会えます。



アカハラ (塘路湖畔)

例年、飛来直後の今の時期によく見られます。地面で餌を探していることが多いです



エゾムシクイ (サルボ歩道)

声は聞こえてもなかなか姿が見られない鳥。たまたま近くの枝に止まってくれました



オオリ (サルルン展望台)

樹上から聞こえた「ピールーリーー」の声。日本三鳴鳥の美声にしばし耳を奪われました



コムドリ (塘路湖畔)

パークゴルフ場をウロウロしていた♂。センター前の芝生でも度々姿を見かけます



ツバメ (塘路湖畔)

電線で休憩中の2羽。群れでセンター上空を飛び交う姿が見られることもあります



モズ (塘路湖畔)

聞き慣れない声で鳴いていた♂。どうやら他の野鳥の鳴きまねをしていたようです

## 【植物】

早春はまだ枯れ色が目立っていた塘路湖畔ですが、春の花が続々と開花し、少しずつ色彩が豊かになってきています。さらに、樹木や草原にも緑が戻り始め、これから夏に向けてさらに色彩豊かになっていくことでしょう。



**エゾエンゴサク (サルボ歩道)**  
ちょうど見頃を迎えたところ。塘路湖周辺では水色や青紫色の花が多く見られます



**エゾオオサクラソウ (サルボ歩道)**  
塘路湖周辺では稀な花。しかし、鮮やかなピンク色の花は圧倒的な存在感があります



**エゾヤマザクラ (サルボ展望台)**  
見頃を迎えたサクラの花と背後に見える青い塘路湖。春らしい華やかな光景です



**エゾキケマン (サルルン展望台)**  
塘路湖周辺で見られるケシ科植物の中では少数派。展望台脇で一株だけ見られました



**エゾヒメアマナ (元村キャンプ場)**  
周辺でたくさん見られます。華奢な花ですが、まとまって咲くので良く目立ちます



**キジムシロ (塘路湖畔)**  
散策道脇で目立ってきています。それほど個体数は多くないものの、一部群生します

## ◎早春のシラルトロ湖畔で水鳥と夏鳥を観察

4月24日(土)、早春のシラルトロ湖畔で冬鳥の水鳥と、飛来し始めた夏鳥を観察する野鳥観察会を開催しました。

まずは湖岸で水鳥たちの観察。まだわずかに残っていたヒシクイやオオハクチョウをはじめ、例年この時期に観察されるカモの仲間たちを順調に観察することができました。

水鳥観察の後は夏鳥を探して湖畔を散策。やや気温が低かったこともあり、夏鳥たちの活動はあまり活発とは言えなかったものの、遠くからまだぎこちないウグイスの鳴き声が聞こえてきたほか、ベニマシコやカワラヒワなどの夏鳥を確認することができました。

この日は全部で28種の野鳥を観察することができ、ここ数年の中では最も良い結果となりました。参加者10名



## ◎写真で見るひと昔前の標茶町

5月1日(土)～9日(日)までの期間、センターのレクチャールームで「昔のしべちゃ 写真展」(標茶町博物館との共催行事)を開催しました。

標茶町に最初の役場が置かれてから今年で135年。農業や炭鉱をはじめとしたかつての産業の様子や、町並みの変遷などを記録した貴重な写真を、住民の方のお話などの資料とともに展示しました。

展示期間中は観光で訪れた方とともに、地元在住の方も多く訪れ、ひと昔前の標茶町の様子に熱心に見入る姿が見られました。



## ◎続々と飛来する夏鳥と、咲き始めた春の花を探して

5月4日(火・祝)、春の塘路湖畔を散策する観察会を開催しました。この日のテーマは「みんなで発見する!!」。続々と飛来する夏鳥や、咲き始めたばかりの春の花の初確認を目指し、参加者全員でフィールドを探索しました。

風が強く肌寒かったこの日、野鳥たちの動きはやや鈍く、期待していたセンダイムシクイや

コムクドリなどの初確認ができなかったのは残念でしたが、一方で、フッキソウやエゾヒメアマナなどの春の花の開花は確認することができました。

その他にも賑やかな声で鳴くオオジシギや満開のエゾエンゴサクなど、春の塘路湖畔の音や色を感じられた観察会となりました。参加者10名



## 6月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 新緑の湿原 野鳥観察会

[日 時] 6月5日(土) 8時～10時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 初夏の花を見に行こう

[日 時] 6月6日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで  
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 4/15(4:40,18:05). 4/30(4:17,18:22).5/14(4:00,18:38)

～編集後記～

■ようやく釧路地方にも春の訪れを感じるようになり、季節の花が次々と咲き、夏鳥たちの姿も見られるようになりました。今年の連休は昨年より車の流れや人の数が多く感じられ、釧路湿原内にあるキャンプ場では、密に近いくらい利用者が多い様でした。引き続き館内利用の際は新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力、ご理解、よろしくお願いいたします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料